

## 第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」		
	(2)参加・体験活動の推進		
事業名	高校生美術館体験プログラム		
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市教育振興財団	
市との関わり	主催		
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 221-2411 (内) 95-2523

事業概要	開始年度	平成25年度			
	事業費	(予算) 市： 50	その他： 0	(決算) 市： 0	その他： 0
	内容	公益財団法人千葉市教育振興財団が主催する市の受託事業のうち、教育普及事業（学校との連携）に関する業務に該当する。市内を中心とした高等学校の生徒に対して、幅広い美術館体験を提供することで、今後の自主的な美術館活用の契機を創出することを目指す。			
	目的	美術館とその仕事についての理解を深め、美術館を積極的・主体的に活用し支える人材を育成する。			
	目標	(数値) 生徒 1人		(昨年度) 生徒25人、引率2人	
	ねらい	<p>(対象)市内を中心とする高等学校の生徒</p> <p>(求める効果)</p> <p>アーティストの公開制作に携わりながら、作品展示の環境や鑑賞者の参加方法の改善を検討する体験を通して、参加者が主体的に美術作品を理解し楽しむ力を育み、美術館とその仕事についての理解を深める。美術館をこれまで自分の知らなかった表現や価値観に出会える楽しい場所として経験してもらうことで、一度きりの特別な体験ではなく、今後の主体的で継続的な活用へとつながる流れを作る。</p> <p>(アプローチ方法)</p> <p>同時期に開催のアーティストプログラム（つくりかけラボ企画「ブレラボ」）に関わり、アーティストとの交流を通して新たな価値観や表現に触れるとともに、文化芸術活動を企画実施する視点でのディスカッションから、美術館とその仕事についての理解を深める。具体的なスケジュールは下記を参照。</p> <p>10:00～ ガイダンス（15分）流れの確認／プログラムのねらい／美術館活動とその展開について</p> <p>10:15～ アーティストの指示で制作作業に参加</p> <p>15:00～ 振り返りとディスカッション（ブレラボでこんなこともできそう・やってみたい、のアイデア出し）</p> <p>*作家への質問タイム（～16:00）</p>			
	実績	<p>実施日：7/15（月・祝）</p> <p>参加者：1人（高校3年生）</p>			
	情報発信	<input type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input checked="" type="checkbox"/> フェイスブック・ツイッター <input checked="" type="checkbox"/> その他（各学校への文書案内、各校美術担当教員への告知）			

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1 基本 施策 との 適合	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 事業の目的が、日常生活において自主的に美術館を訪れる回数の少ない高校生を対象に、幅広い美術館体験を提供することで、今後の美術館活用の契機を創出することであり、文化芸術活動を身近な場所で気軽に参加・体験できる機会を通じて市民の活動へのきっかけづくりを推奨することに合致し、基本施策1(2)参加・体験型活動の推進に沿っている。
	(2) 達成度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 参加人数は限られていたものの、アーティストとの交流を通して文化芸術活動への参加・体験の機会を提供することで、様々な表現活動を紹介する美術館の事業を気軽に体験してもらうことができた。また、本事業を通して参加者の文化芸術活動への関心が高まり、今後の自主的な美術館利用や、他の文化芸術活動事業参加へと繋がることも期待できる。
	(3) 波及		(評価の内容) 同時期に開催のアーティストプログラム(つくりかけラボ企画「プレラボ」)および千葉大生のインターンシッププログラムとの連携によって、高校生の参加者とアーティストやインターン生との直接的な交流が生まれたことは、基本施策2(3)がねらいとする文化芸術活動を支える人材の育成や、基本施策4(2)がねらいとする多様な協働、連携の促進についても叶うものである。
2 戦 略 的 な 視 点 ・ 基 本 姿 勢 と の 適 合	(1) 市民主体	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) アーティストプログラム(つくりかけラボ企画「プレラボ」)では、千葉市を拠点に活動するアーティストの表現を紹介するとともに、その場を訪れた市民が空間づくりに主体的に参加できる仕組みを提供した。本事業において、参加者である高校生がアーティストの制作補助やワークショップの仕組み改善に取り組むことで、市民が主体となる文化芸術活動の活性化を図ることができた。また、子どもや親子連れなど、年齢や経験によらず、誰もが気軽に参加できる場づくりに寄与することができた。
	(2) こども・若者	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 本事業は、市内を中心とする高校生を対象としており、各学校への案内文書送付や美術科担当教員への通知、千葉市高等学校美術工芸作品展での直接案内を通して、高校生の主体的な参加を促している。また、千葉を拠点に活躍するアーティストを講師に招き、直接的な交流を通して視野を広げることができ、参加者が美術館における文化芸術活動を気軽に体験し、創造性を育むことができる機会として実施している。
	(3) 領域の広がり	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 同時期に開催のアーティストプログラム(つくりかけラボ企画「プレラボ」)に参加者が主体的に関わる機会を設定することで、アーティストとの交流を通して新たな価値観や表現に触れることができた。また、文化芸術活動を企画実施する視点でのディスカッションにより、新たな文化芸術の創造を担うという観点からも創造性を広げることができた。

3 事業のねらい	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>当館において、高校生以下は観覧料無料としているが、若年層の日常的な来館者数は他の年代層に比べて少ない。そのような中で、作品鑑賞や美術館そのものに関心を高め、愛着を持ってもらうきっかけを作り、今後の自主的な来館の動機付けを目指す本事業のねらいは、関連づけられる基本施策1(2)に則しており、同時に基本施策2(3)や基本施策4(2)についても効果をひろげていることを鑑みても、妥当と考える。</p>
	(評価に関連する数値等)		
3 事業のねらい	(2) アプローチ	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>高校生という年齢を鑑み、作品鑑賞に加えて、制作やワークショップなどアーティストとの直接的な交流を経験することを通して、多様な表現や新たな価値観に触れ、それをより深く理解することをねらいにプログラムを設定している。特定の学校との連携(前年度)を経て、次の段階として公募のプログラムとしたが、参加者数が少なく、次回からは対象者を広げ「中高生プログラム」として実施するのが適切ではないかと考えている。</p>
	(評価に関連する数値等)		
4 市民との関わり	(1) 満足度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>参加者からの聞き取りを通して、「大学進学を控えた時期に美術館ならではの経験を得る機会として、保護者に勧められたことがプログラム参加の契機となった。アーティストとの協働は初めての経験であり、今まで知らなかった価値観に触れることができた。一人参加であったが、インターン生との交流を通して学ぶことも大きく、普段学校ではなかなか得難い経験をすることができた」といった、高い満足度が伺える意見を聞くことができた。</p>
	(評価に関連する数値等)		
4 市民との関わり	(2) 周知度	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>平成25年度より、市内高等学校の教員より要望を受けて始まった事業であるが、認知度はまだ十分でない。各学校への案内文書送付や電話等による美術科担当教員への案内、千葉市高等学校美術工芸作品展(千葉市美術館市民ギャラリーにおいて毎年開催される、千葉市内の高等学校18校による美術工芸授業の優秀作品と部活動の成果を発表する展覧会)での告知など、効果的と思われる広報を続けているものの、公募にあたっての参加者数が少なく、今後も周知度の向上に努めたい。</p>
	(評価に関連する数値等)		

5 効 果	(1) 活 動 の 活 性 化	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 千葉出身・拠点アーティストの公開制作に携わりながら、作品展示の環境や鑑賞者の参加方法の改善を検討する体験を通して、文化芸術活動の場に直接的に関わり、文化芸術の担い手となる人材の育成や千葉の魅力ある人材の活用につながった。また、アーティストだけでなく千葉大学のインターン生、公開制作の鑑賞者やオープンワークショップの参加者である子どもたちとの関わりなど、多様な主体との協働、連携の促進につなげることができた。
		(評価に関連する数値等)	
	(2) 費 用 対 効 果	<input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 本来は独立した事業として講師謝礼を予算立てしているが、参加者人数の少なさを鑑み、内容を変更してインターンプログラムおよびアーティストプログラム（つくりかけラボ企画「プレラボ」）との組み合わせとしたことで、アーティストプログラムの予算内で対応することができた。例年に比べて参加者数が少なく、高校生同士のコミュニケーションを深める機会を作ることが難しかったことを反省点とし、実施日程を再検討するなど、より多くの参加者が集まる環境を設定していきたい。
		(評価に関連する数値等)	
	(3) そ の 他 の 効 果	<input checked="" type="checkbox"/>	(評価の内容) ※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載（地域活性化等なんでも可）
		(評価に関連する数値等)	